

| | | | |
|---|--|------------------|-------------------|
| 科目コード／科目名 (Course Code / Course Title) | AT312／文学講義 312 (Lectures on Literature 312) | | |
| テーマ／サブタイトル等 (Theme / Subtitle) | 日本文学史・近世2 | | |
| 担当者名 (Instructor) | 安原 眞琴(YASUHARA MAKOTO) | | |
| 学期 (Semester) | 秋学期(Fall Semester) | 単位 (Credit) | 2単位(2 Credits) |
| 科目ナンバリング (Course Number) | JAL2300 | 言語 (Language) | 日本語 (Japanese) |
| 備考 (Notes) | 定員 400 名 | | |

授業の目標(Course Objectives)

妖怪についての学びを通して、日本の文化や文学の特徴の一端が説明できるようになる。

Through learning about youkai, you will be able to explain some of the characteristics of Japanese culture and literature.

授業の内容(Course Contents)

アニメの「ゲゲゲの鬼太郎」や「妖怪ウォッチ」が子供たちの人気を集めているように、妖怪は現在でも私たちの心をつかんでやみません。でも、妖怪は子供たちのためのキャラクターとして新しく作られたものではなく、古代から存在していました。妖怪を知ること、日本の文化や文学の特徴の一端を学びましょう。

Just as the anime "GeGeGe no Kitaro" and "Yokai Watch" are gaining popularity among children, youkai still grab our hearts. However, youkai were not newly created as characters for children, but have existed since ancient times. In this class, I would like to learn a part of the characteristics of Japanese culture and literature by learning about youkai.

授業計画(Course Schedule)

1. イントロダクション: 今どんな妖怪が知られているのかな?
2. 妖怪の定義(仮)をする
3. 妖怪と精神について概観する
4. 古代の妖怪(記紀): 神と妖怪
5. 古代の妖怪(記紀): 神と妖怪
6. 中古・中世の妖怪(絵巻・説話): 神仏と妖怪
7. 中古・中世の妖怪(絵巻・説話): 神仏と妖怪
8. 中古・中世の妖怪(絵巻・説話): 神仏と妖怪
9. 近世の妖怪: 江戸の科学と妖怪
10. 近世の妖怪: 江戸の科学と妖怪
11. 近世の妖怪: 笑いと妖怪
12. 近世の妖怪: 恐怖と妖怪
13. 近代の妖怪: 学問と妖怪
14. まとめ

授業時間外(予習・復習等)の学習(Study Required Outside of Class)

事前学習: 毎回事前に調べてくる。

事後学習: 毎回リアクションペーパーで復習する。

宿題: 随時参考文献などを読み理解を深める。

成績評価方法・基準(Evaluation)

最終レポート(Final Report)(40%) / 課題レポート(20%) / リアクションペーパー(40%)

テキスト(Textbooks)

なし

参考文献(Readings)

1. 小松和彦・飯倉義之、2015、『日本の妖怪』、宝島社 (ISBN-10: 480023915X)
適宜指示します。

その他(HP等)(Others(e.g.HP))

<http://www.makotooffice.net/>

